

平成26年度 学校自己評価システムシート（私立 立教池袋中学校）

目指す学校像	生き方にテーマを持ち、知恵と愛を備えた教養人、世界平和にも貢献できる人間を育てる
--------	--

重点目標	<p>① テーマを持って真理を探究する力を養うために、神様から与えられた自らの力を発見し、強い意志を持って幅広い分野で活躍できる人材の育成を試みる。そのために、基礎学習力を養い、豊かでの確かな日本語を使う力、生きた英語を使う能力を育成する。</p> <p>② 共に生きる生活の基本に祈りを置き、様々な行事を通じた人との繋がりの中で、互いに理解し合い、共に助け合って共同生活を豊かにすることができる能力を養う。</p> <p>③ 教育環境の整備に努める。</p>
------	--

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価（8月31日現在）			
番号	課 題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題
①	基礎学習力の強化 教育目標へのアプローチ 自主的・主体的活動の実践 授業方法の改善	(1)選科や補習の充実と実践 (2)家庭学習の奨励 (3)テーマ設定の為の環境作り (4)生徒会・学友会活動の実践 (5)授業の客観的評価	(1)学校評価アンケートの実施 夏休みの補習（英・数） 教科担当者の個別指導 (2)課題（宿題）の提示と確認 (3)校外学習の実施 自由研究の奨励 選科による発展的授業の実施 (4)生徒会活動のサポートと予算措置 体育祭の実施 R. I. F. の実施 (5)授業アンケートの実施	(1)肯定的評価の割合80% 補習の実施 教科面接指導の実施 (2)課題（宿題）の指示が的確に行われていたか。 (3)プログラムの実施 提出数300とR. I. F. 発表数60 実施 (4)プログラムの実施と予算計上 (5)実施率100%	(1)肯定的評価は生徒＝70%、保護者＝84% 中1～3年で数学35名、英語58名が参加 前期末・中期末に面談を実施 (2)全学年で実施 (3)関西・山陽・山陰の3コースで実施 提出数219、展示発表数66 中1＝15、中2＝19、中3＝29講座で実施 (4)中学スポーツ大会の実施 初めての4クラス体制をグラウンドで実施 多くの来場者に恵まれ、盛大に実施 (5)実施率95%	B A A B A A	(1)生徒のニーズに合った講座開設 学生授業補助者の確保 (2)より学習効果の高い課題作り (3)自由研究への動機付け 自由研究の奨励 (4)中学独自の自治活動拡大 (5)改善への具体的取り組みの策定
②	教育理念の理解と実践 学校行事の充実 地域連携の強化	(1)キリスト教教育の理解と実践 (2)異文化体験 (3)ボランティア活動の充実 (4)地域との交流	(1)学校評価アンケートの実施 (2)国際交流プログラムの実施 （アメリカキャンプ、CCES交歓留学） (3)フィリピン薬品支援の実施 ワークキャンプの実施 施設訪問の実施 学院ボランティアへの参加 (4)豊島区とごみゼロ運動、イベント大会、保育園ボランティアで提携	(1)肯定的評価80% 礼拝の実施、聖書の授業実施 (2)アメリカキャンプの実施 CCES交歓留学の実施 (3)フィリピン薬品支援の実施 ワークキャンプの実施 施設訪問の実施 清里環境ボランティアの参加 (4)プログラムの実施	(1)肯定的評価は生徒＝67%、保護者＝96% 全学年で実施 (2)スティーブンス＝18名、ヒューストン＝16名 6月受入は実施せず、3月2名を派遣 (3)R. I. F. でバザーを実施し薬品支援を行った ワークキャンプ参加者＝高山6名、榛名2名、仙台7名 収穫感謝礼拝時に宗教委員会の施設訪問実施 高校生＝4名、中学生＝4名参加 (4)生徒会と有志が参加	A B A A	(1)継続して実施 (2)一部プログラムの見直し 参加人数の増加、広報の見直し (3)継続して実施 参加者の拡充 (4)継続して実施 保育園への中学生参加を模索
③	心と体のサポート体制 保護者との協力体制の確立 施設設備の充実	(1)生活環境の見守り 特別支援体制作り (2)保護者との情報交換体制作り (3)PTA活動のサポート (4)危機管理と安全対策実施 (5)施設設備の改修工事と将来計画	(1)相談室体制での相談と実践 いじめ防止基本方針の策定 (2)学校評価アンケートの実施 ホトノキ・PTA会報等の発行 父母教室や生徒の健康を考える会 保護者会、授業公開の実施 (3)PTA関係行事への参加 (4)危機管理マニュアルの点検・再考 避難訓練の実施 (5)施設改修計画の策定	(1)カウンセラーと相談室の連携 学校基本方針の作成 (2)肯定的評価80% 発行 実施 実施 (3)各部行事への参加 (4)現状に即した点検整備実施 実施 (5)施設の安全確認と改修計画の立案	(1)週1～2回相談室委員会を実施 9月に完成 (2)肯定的評価は保護者＝91% ホトノキ全5号、PTA会報年度末に発行 父母教室7回、健康を考える会3回の開催 保護者会全クラスで、公開授業一部学年で実施 (3)夕べの会・親善スポーツ大会・講演会・模擬店等、各部行事に積極的に参加 (4)関係各部署で分析を開始し再考案を検討中 5月地震、9月火災の避難訓練を実施 (5)インスペクションの実施 年次計画を含めた改修案の作成	A A A B A	(1)より広い相談体制の構築 (2)父母教室の充実と広報戦略 参加者の拡充 授業参観、公開授業の実施増 (3)継続して参加 (4)緊急災害時の安全確保と連絡手段の見直し (5)計画の遂行